

複数の障がいにも対応

岡山県教育委員会では、この報告の趣旨を踏まえ、障がいのある幼児児童生徒の自立と社会参加の実現に向けて、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行うため、特別支援教育の推進に関する基本計画を定めた「岡山県特別支援教育推進プラン」を策定しました。

学校教育法の改正により、従来の盲・聾・養護学校のように特定の障がいに対応した学校のほか、複数の障がいにも対応する専門教育が行える学校も設置できるようになりました。岡山県では、制度改正前から先駆的に複数の障がいに対応した岡山東養護学校、早島養護学校など4校を設置してきました。しかし、近隣に肢体不自由特別支援学校がない地域もあり、今後専門的な教育をできる限り身近な地域で受けられる体制整備が検討されているところ

一方、視覚障がい、聴覚障がい等の全県を通学区域とする特別支援学校については、同一障がいでも一定規模の集団を確保することや専門的な教育を充実することが検討されています。

増加する知的障がい特別支援学校生徒

また、県内の特別支援学校に在籍する幼児児童生徒の中で、特に知的障がいの特別支援学校の児童生徒数が増加しています。県南部における知的障がいの特別支援学校の児童生徒数の増加の背景には、中学校特別支援学級等卒業者の多くが高等部へ入学している現状があります。今後、小中学部児童生徒数の増加も見込まれ、教室不足の問題が生じており、これらに対応する教育体制の整備が求められています。

このたびの特別支援学校新設には、こうしたニーズ、問題に早急に対処するため、議会としても総社市へぜひ誘致できるように、全力で取り組みたいと考えています。

特別支援学校の場所として適切なか議論がされていない。基準の広さは3万㎡規模と言われている。特別支援学校は郊外につくられているのが現状。ユニチカ跡地で倉敷との誘致競争に勝てるか。早急な話で予備的な場所とし、誘致後に議論して土地を選定するというスケジュールも選択肢としてあるか。

A ユニチカ跡地は2万5305㎡。清音神在本線用地を除くと2万25

55㎡となる。目安としては岡山南養護学校の3万㎡規模が考えられるが、県からは具体的面積は提示されていない。他の候補地は現状では聞いていない。交通の利便性、時間的制約も考えると、手持ちの土地でユニチカ跡地を候補地として要望したい。急いでいる県の要望に協力したいという話も聞きたい。

Q 今、県南にある施設を閉鎖して持つてくるのではなく、狭いから倉敷、総社に探し求めるのか。

A 閉鎖してやるのでなく、障がいのある子どもが県南地域に増えることから新設することから新設するということ。通学に遠いから市内の特別支援学級に通わざるを得ない状況を解消し、適正な教育を受けることができるように、ぜひ実現させたい。



誘致場所として検討されているユニチカ跡地

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。各月の執行状況については、議会事務局及び市のホームページ（<http://www.city.soja.okayama.jp/>）でご覧になれます。

[平成21年5月分～7月分]

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
お供	—	0	—
お祝	7/18	5,000	義民祭御祝儀
お見舞	—	0	—
激励金	—	0	—
会費等	5/13	200	総社市人権教育推進協議会会費
	5/25	8,000	さつき会会費
	6/25	10,000	親和会総会会費
議長賞	6/14	6,000	将棋大会議長賞
土産等	5/13	8,640	厚生委員会行政視察先
	5/18	8,000	産業建設消防委員会行政視察先
	5/18	16,840	総務文教委員会行政視察先
	6/30	3,900	議会運営委員会行政視察先
募金	—	0	—
その他	—	0	—
合計	—	66,580	—
累計	—	87,580	—

この結果、総務文教委員会で全員一致で採択すべきと決定し、議会最終日に議員提案で「総社市へ特別支援学校設置を求める意見書」（11ページ参照）を提案。質疑、討論もなく全会一致で採択し、県知事、県教育長、県議会議長に提出しました。

学習や生活困難の改善への指導援助

障がいのある人たちの教育環境は、学校教育法の改正により大きく変わってきています。従来の特殊教育では、障がいの種類や程度に応じて盲・聾・養護学校や特殊学級といった特別な場で、手厚くきめ細かな教育を行うことに重点が置かれてきました。その中で、重度の障がいや重複障がいのある幼児児童生徒の教育にかかわる条件整備が進められてきました。

特別支援教育は、こうした特殊教育が果たしてきた役割を継承しつつ、障がいのある幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、学習や生活上の困難を改善、克服できるように、適切な指導・援助を行うものです。また、対象となる障がいも、知的な遅れのない発達障がいや新たに加え、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施するものです。こうした基本的な考え方を踏まえ、「岡山県特別支援教育推進検討委員会」で、平成20年3月に「岡山県における特別支援教育推進の在り方について」報告が取りまとめられました。これによると、特別支援学校では、①複数の障がいに対応した適切な教育体制の整備、②小中学校在籍の幼児児童生徒の教育に関し、適切な助言や援助を行うセンター的機能の充実、③就労による社会自立を促進するため職業教育の充実など、特別支援学級では、①特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した適切な指導・支援の充実、②就学前から卒業後までを見通した一貫した支援を行うための関係機関との連携支援など

8月定例会市議会の予定

8月定例会市議会は、8月25日（火）から9月7日（月）までの予定です。この定例会市議会本会議を、倉敷ケーブルテレビの13チャンネルで午前10時から生放送します。8月定例会市議会は、右の表のように予定していますが、正式な日程は8月下旬に行う議会運営委員会で決まります。決まり次第、13チャンネル（回覧板チャンネル）と市のホームページ（<http://www.city.soja.okayama.jp/>）でお知らせします。なお、8月27日は午後4時ごろまでの開催予定ですが、その他の日については一般質問・質疑の多少により変更となる場合がありますので、前日にお尋ねください。

日時	内容
8月25日	開会
8月27日	一般質問
8月28日	一般質問、質疑
9月7日	閉会

問い合わせ 議会事務局 Tel 92-8332